

全木連時報

5月25日(火曜日)
(第554号) 毎月25日発行
平成16年(2004年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
代表者 後藤 隆一
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

全木連・全木協連・木退共通常総会

新会長に

庄司(全木連)、並木(全木協連)両氏を選任

第56回全木連通常総会、第44回全木協連通常総会及び木退共の本年度通常総会が五月十一日、東京都港区の虎ノ門パストラルを会場に、全国から会員多数が出席して盛大に開催された。役員改選では久我一郎会長の退任に伴い、庄司橙太郎氏が全木連新会長に、並木瑛夫氏が全木協連新会長にそれぞれ選任された。当日は、林野庁から前田直登長官、黒木幾雄次長はじめ関係幹部、また国土交通省から川本俊明住宅生産課長はじめ関係幹部が来賓として出席した。

全木連通常総会

全木連総会は、理事会と併せ、午後一時三十分から開会。会議に先立ち、今春の勲章及び褒章受賞者名を後藤副会長が報告(氏名別掲)。

受賞をお喜び申し上げます

平成十六年春勲章・褒章受賞者(敬称略)

- | | | | |
|-------|-----------|------|-----------|
| 旭日中綬章 | 佐川清一(茨城県) | 黄綬褒章 | 谷崎羊介(北海道) |
| 旭日小綬章 | 安野次雄(島根県) | 黄綬褒章 | 水野治郎(山梨県) |
| 旭日双光章 | 天野一二(福岡県) | 黄綬褒章 | 神谷雄介(静岡県) |
| 旭日双光章 | 小笠原弘(北海道) | 黄綬褒章 | 村上高兒(大阪府) |
| 旭日双光章 | 高田和弘(岡山県) | 黄綬褒章 | 松山昭三(広島県) |
| 旭日双光章 | 西川四郎(愛知県) | | |



並木全木協連会長



庄司全木連会長

目次

- 一面 通常総会特集
- 全木協
- 全木協連
- 五面 木退共
- 六面 景況調査

開会の言葉を駒井満夫副会長が述べたあと、久我会長が挨拶(概要は別掲)。つづいて来賓の前田林野庁長官と川本国土交通省住宅局住宅生産課長が挨拶した(要旨別掲)。

議事は久我会長が議長となつて、提出議案の「平成十五年度事業報告承認の件」これは、事務局から概要を説明し、原案どおり承認。の「平成十五年度収支決算報告の件」は事務局から説明後、監事の監査報告を受けて、原案どおり承認。

会長には、久我一郎氏の勇退に伴い、代わつて庄司橙太郎副会長(東京)が選任された。

副会長では、これまで永年にわたつて活躍した駒井満夫氏(東北・青森)が退任し、後任には小松吉昭氏(東北・福島)、また、新たに中谷弘支部長(近畿・和歌山)が副会長に選任された。

支部長では、門田成耕氏(四国・高知)に代わつて樋口浩良氏(四国・香川)が四国支部長、また、新たに吉奈良明氏(東京)が東京支部長に選任された。事務局の役員構成は従来どおり三人体制(新メンバーは別掲)

最高顧問に久我氏、
会長代行に平方氏

役員改選後、事務局から前・久我会長を最高顧問に推戴したい旨

久我会長挨拶要旨



総会であいさつする久我会長

我が国の経済は、株価の持ち直し、設備投資の増勢、雇用の改善など一部には明るさも感じられる情勢ではありますが、長期にわたる金融不安、デフレマイ、デフレマインドの影響などのため今ひとつ景気の回復感を実感できないであります。

諮り、満場一致でこれを了承した。また、会長代行副会長には平方力副会長を推薦したい諮り、了承された。最後に、坂本喬副会長が閉会の言葉を述べて総会を終了した。

景気回復の進展は、業種により、規模により、また地域により大きな格差があるように感じられます。特に地域格差は大きく、木材産業始め地域密着型産業は、景気回復の流れに乗り切れず未だに苦しんでおります。

このような苦境を脱出するため、なお一層の地域振興対策が待たれるところです。こうしたなかで木材需要の太宗をなす新築住宅着工戸数は、平成十五年を見ると前年を〇・八%上回っておりますが、木材需要量は逆に〇・三%減少しました。ところが国産材の供給量は十五年ぶりに前年を上回りました。これが国産材の供給の転換点になることを期待するものであります。また、木材輸入は減少に歯止めがかからず、木材全体の取扱量が減少していくという現象が起こっております。

昨今は、環境、健康に対する消費者の関心が高くなってきています。こうした中、グリーン購入法に関しましては、対象品目として間伐材、小径木等を原材料とした「製材」が指定されたことは一定の成果であります。また、揮発性有機化合物、すなわちVOCの排出規制強化に関しましては、テルペン類等の木材由来のVOCを、規制対象外とすること、併せて規制対象を大規模工場のみとするを強く申し入れ、環境省からほぼ満足の行く回答が得られたことは大きな成果でありました。

さて、ダイオキシン対策につきましては、後で詳しくご説明いたしますが、先月二十日第五回木屑の適正処理検討委員会を開催し、全木連からの要望を踏まえた環境省の規制緩和対策(案)について、具体的な協議をいたしました。その結果、これらの見直しが必要なものであると評価でき、またこれらが実施されれば業界の負担は著しく軽減されるものと判断致しました。従って、法改正を求めることについては、これら一連の見直しが実施され、その結果を見極めてからでも遅くはないという判断になりました。

次に、木退共につきましては、加入者数の減少傾向に一向に歯止めがかからず、引続き厳しい運営を続けております。このため本年度は財政基盤の健全性を計るため予定金利の引下げを実施いたしました。今後とも、この共済制度の利用拡大に努めるとともに、安定的制度の運営に努めて参る所存でありますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後にになりましたが、木材業界にあって、春の叙勲並びに褒章の栄に浴された方々に於かれましては、ひとえに日頃のご精進とご努力の賜物と心からお喜び申し上げますと共に、今後一層のご活躍をご祈念申し上げます。

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種共済制度

従業員のために	中型グループ	施設賠償 PL共済	第三者への事故対策に	
経営者のために	大型 L型 無配当型	各総合保障 プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
			積立終身	経営者の退職金などの準備に
			ケガ・病氣入院 などの備えに	

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

久我会長 退任挨拶

先ほど、四期八年にわたる全木連会長職を辞しました。まるで大きな荷物を降ろしたような気分になっております。しかし、私にとつてこの八年間は悲喜こもこもありましたが、あつという間の幸せな時間でありました。

この間、会員の皆さんのご期待に十分にお応えできず内心忸怩たるものがございますが、何とかこの重責をまっとうすることが出来

ましたことは、ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と、高い席からではございますが、厚く御礼申し上げます。

庄司新会長 就任挨拶

幸い、庄司新会長という申し分のない後継者にも恵まれ、何の憂いも残さず後事を託すことが出来ますことは、有難いことと存じております。

長のもとに心を新たに全木連の力を再結集し、この困難を乗り越えることを期待しております。最後に、皆様のご健勝と全木連のますますのご発展を祈念し、簡単ですが私の退任の挨拶と致します。どうも有難うございました。

全木協連通常総会

通常総会は理事会と併せ、午後三時三十分開幕。会議に先立ち、今春の勲章及び褒章受賞者名を後藤副会長から報告があり、全員拍手で表彰者を称えた。

開会の言葉を岡田幸助副会長が述べたあと、庄司会長が挨拶(概要は別掲)。つづいて来賓の黒木林野次郎次長から挨拶が行われた。庄司会長が議長となつて議事に入つ

た。平成十五年度事業報告(案)と同収支決算及び剰余金処分案の二議題を事務局から説明後、拍手で承認。平成十六年度事業計画(案)について後藤副会長が説明後、原案どおり決定。

度額 同役員報酬 の四議案を事務局から説明して、原案どおり決定。役員改選の件は、任期満了に伴い、行われることになり、選考委員会の選考報告を承認の上、決定。会長には、庄司橙太郎会長が全木連会長に選任されたのに伴い、新たに並木瑛夫副会長(千葉)が

庄司会長 挨拶要旨

本日、平成十六年度全国木材協同組合連合会の通常総会を開催いたしましたところ、公務ご多用中にもかかわらず林野庁の黒木次長はじめご来賓の方々、それに会員多数ご出席を賜り、厚く御礼申し

先ずもつて、只今、後藤副会長から今年春の勲章・褒章受賞者が発表されましたとあり、木材関係では六名の方が勲章受賞、五名の方が褒章をそれぞれ受賞されました。受賞者の長年にわたる木材産

業への貢献に対し、皆様と共に改めて感謝申し上げますとともに、拍手をもつて心からお祝い申し上げますと存じます。

さて、現在のわが国経済は、長かった不況のトンネルから脱出して景気回復の兆しが緩やかに広がりつつあります。しかし、中小企業や地方経済にあつては、業種や企業規模の違いで景気格差が広がっています。中央における景気回復の波及効果が一日も早く地方経

済にまで広がるよう期待しているところでありませう。そうした中であつて、木材産業は、この一年間、何よりも優先して木材産業構造改革はじめ木材利用拡大、ダイオキシン対策やシックハウス対策等の環境規制に真正面から取り組みました。また、景気回復への波及効果が高い住宅ローン減税の継続についても、木材需要の喚起、価格の安定の観点か

ら強力に要請し、減税規模縮減による延長が実現したところでありませう。さて、昨年の全木協連は、木材産業の当面する多様な課題に対し、全木連と連携して取り組むと同時に、林野庁はじめ関係省庁、中小企業関連団体・機関とも緊密な連携のもとに事業推進に努めました。ご協力いただいた関係省庁、関係機関に対してこの場をお借りいた

しまして厚く御礼申し上げます。
 平成十五年度事業経過について概略ご報告申し上げますと、主たる事業であります利子助成事業、共済事業は長引く景気低迷による設備投資の抑制や事業の縮小・廃止、さらには雇用環境の悪化等の影響をもちまして黒字決算となり、各種事業を推進することができ、お蔭様をもちまして黒字決算とすることが出来ました。

黒字決算の要因は、長年にわたる大同生命との提携による共済保険事業における死亡・事故件数の減少によるものであります。

さらに、林野庁平成十四年度補正予算による、いわゆる「木材フェア」を六月に「大阪」と「副都心さいたま」でそれぞれ二日間ずつ開催しましたところ、環境時代における木の暮らしへの関心の高まりから、四日間で延べ七万二千人余の集客があり、大成功を収めることができました。ご協力いただいた会員に対し、厚く御礼申し

上げます。

さて、平成十六年度の事業計画につきましましては、さる三月二十五日開催の臨時総会で、最近のわが国の経済が回復基調にあり、雇用環境もやや改善されつつあることを背景に、中型グループ共済保険事業の拡充を軸に事業活動を行ない、安定した財政基盤の確立に努めて参りたいと存じます。よろしくご協力のほどお願いいたします。

このほか、木材産業構造改革に向けた(1)木材産業体質強化事業、(2)木材供給高度化設備リース促進事業、(3)木材産業構造改革促進事業について引き続き全木連と連携して実施するほか、多様な課題についても会員の皆様からの率直なご意見に謙虚に耳を傾けながら、活力のある協同組合連合会を目指して頑張つてまいりますので、力強いご支援をお願い申し上げます。終わりにあたり、本日ご列席のご来賓はじめ会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げます。私の挨拶といたします。

来賓挨拶

温暖化防止のために木材利用を推進

林野庁長官 前田 直登

我が国の森林・林業・木材産業をめぐる情勢は依然として大変厳しいものがありますが、昨年は木

造住宅の新設着工戸数が二年ぶりに増加し、製材用の国産材素材供給量も平成七年以来の減少に歯止

庄司会長 退任挨拶

本日の全木連通常総会で、久我会長が勇退され、後任として、不肖私が歴史と伝統のある全木連の会長に推挙されました。身に余る光栄であると同時に、責任の重大さを痛感している次第です。

平成十一年秋に全木協連会長に就任して以来これまでの約五年間を振り返つてみますと、常に会員の皆様に支えられて会長職を果たしてまいりました。もともと浅学非才なうえ、バブル崩壊の渦中にあつての舵取りが誠に下手なため、会員の皆様には多大なご迷惑をおかけするばかりで、満足出来るような足跡を何一つ残せなかったの

並木新会長 就任挨拶

只今、役員改選の結果、全木協連会長に推挙され、身の引き締まる思いです。

会長就任につきましては、庄司会長さんのご熱心なご要請と関東支部の会長さんからは「支部として、一部で明るい兆しも見られるようになってきました。」

林野庁としては、平成十三年に成立した森林・林業基本法に基づいて森林の多面的機能を持続的に発揮させていくため、さまざまな施策の展開に取り組んでいるところです。

がとて心残りであります。

強いて心に残るものを二、三挙げますと、(1)木材産業不況の嵐が吹き荒れる中ではありましたが、神風も手伝つて、就任中一度も赤字を出すことなく事業実行できたこと、(2)昨年の「木材フェア」では四日間で延べ七万二千人が訪れ、大成功を収めたこと、(3)全木協創立四十周年記念大会を東京で開催し、記念事業としてオリープ基金に寄付したこと、などです。これらは全て会員の皆様方の暖かいご理解、ご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。これからは、全木連会長という立場に変わ

ても名誉なことであるので、ひきつけるべきである。」との強いご意見もあり、お引き受けすることにいたしました。

私自身、会長の器ではないことは十分承知しており、加えて年齢

特に地球温暖化防止の観点から、京都議定書の目標を達成するため、森林による二酸化炭素吸収量三・九%を確保する必要があるわけです。

そのため、平成十四年に策定した地球温暖化防止森林吸収源十カ年対策に基づき、二酸化炭素の吸収源であります森林の適切な管理

ますが、全木協連会長職で最理解できたことの一つに、全木連と全木協連は常に一体であり、連携なくして木材産業の発展はありえないことを強く確信した次第であります。

本日の役員改選の結果、私の後任には、副会長を勤めております千葉の並木会長さんが選任されました。並木会長は、指導力、識見、品格ともに優れ、願つてもない後継者でいらっしゃると思いますので、安心してバトンタッチすることが出来ます。

どうか会員の皆様、並木新体制に対し、これまでにも増して暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。私の会長退任の挨拶とさせていただきます。

的にも体力的にも余り自信がございませんが、新たに選任された副会長さんをはじめ会員の皆様のお力添えをいただきながら、会長職を懸命に、精一杯、真面目に努めてまいりますことをここにお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。

を進めるとともに、木材および木質バイオマスの利用推進を積極的に進めているところです。

平成十七年度からはその第二ステップがスタートすることになっており、今年度はそれに向けて、これまでの取り組みを評価し、追加的対策を検討する節目の年であり、温暖化対策の重要性を幅

広く訴え、そのために木材利用が
必要なのだということについて国
民の理解を得ながら実効的施策の
推進に努めていくことが必要だと
考えています。

林野庁としては今年度も引続き
公共木造施設の整備、あるいは木
質バイオマス利用エネルギー施設
の整備などを進めるとともに、新
たな加工・流通システムを構築す

木造住宅の支援に取り組む

国土交通省住宅生産課長 川本 俊明

平成十五年度の住宅着工統計に
よりますと、新設住宅着工戸数は
前年比二・五%増の百七十七万三千
六百戸と四年ぶりに増加に転じ、
戸数にして約二万八千戸の増加と
なりました。

振り返ると、八年前は百六十万
戸の着工がありました。その後、
金融危機等による不景気で経済環
境が悪化し、住宅業界も厳しい状
況が続いてきました。

そうした中で、四年ぶりに着工
が増加したわけでありますが、こ
のうち木造住宅は二万三千戸の増
加で、全体の増加分のかなりの部
分を占めております。このことは

一般消費者が木に触れる機会を

林野庁次長 黒木 幾雄

林野庁では最近、木材の利用推
進にかなり力を入れ、各種施策を
展開しております。

昨年八月には農林水産省全体の木
材利用拡大のための行動計画を策
定し、省をあげて公共施設の木造
化や木質化に取り組んでおります。

先般、閣議に報告した平成十五
年度の森林・林業白書の特集では
「新たな木の時代の創造を目指し
て」とのテーマを掲げ、健康や環
境などの面から気の良さが見直さ
れていることなどを強調し、木材
利用の新たな意義付けを提起いた
しました。

予算面では今年度から新流通・

るための取り組みを進めていき
いと考えています。

また、「塊より始めよ」と例えに
もありませんように、農林水産省み
ずからが率先して木材利用に取り

国民の中に木造住宅に対して根強
い嗜好・愛着があることを表すと
ともに、皆様の不断のご活躍によ
るものと考えております。

十六年度につきましては、住宅
ローン減税が維持されたこと、さ
らには経済環境が全体的に改善し
ていることなどから、住宅業界で
は各社とも比較的明るい見通しを
立てております。ただし、これも
諸手をあげてというわけではなく、

加工システムがスタートいたしま
すし、地球温暖化防止の観点から
も木材や木質バイオマスの利用促
進に本腰を入れて取り組んでいる
と自負しております。

木材の利用となりますと、やは
り木造住宅のポリウムが一番大
きいわけであり、住宅における木
材の利用を伸ばしていくことが大
きな課題であります。

ただ、家を建てると決めた方に

組むため、昨年八月に行動計画を
策定したところでありまして、省
をあげて木材利用の拡大に取り組
んでいるところです。

これらの施策を実行あるものに

これまでの悪さに比べれば、先行
きはそう悪くはないだろうという
評価だと思われま。

実際、昨年度の着工を都道府県
別に見ますと、増加した県より減
少した県が多く、地域的な偏
りは解消されておりません。

国土交通省としましては、内需
主導の経済を住宅が支えるという
観点で、さまざまな取り組みを進
めていく考えであります。

は木材を選択していただく機会が
ありますが、一般消費者の中には
家を建てるのは将来のことと考え
ている方が多いわけです。そうし
た方々に木を利用することはいい
ことだという理解を促めることが、
木材の利用を長続きさせるために
はぜひとも必要ではないでしょう
か。

ところが、一般消費者が木材に
接する機会はなかなかありません

し、林業・木材産業の活性化を
ついでくためには、関係者の皆様
の積極的なご理解が不可欠であ
ります。今後特段のご協力を賜り
たいと存じます。

木造住宅につきましては、先ご
ろも建築基準法の告示改正により、
木造住宅の耐震性能の測定方法を
合理化し、土壁等の導入がしやす
くなるという改正を行いましたし、
ツーバイフォー工法で耐火建築が
実現できるようにするなど、状況
の改善を図っているところです。

今後引続き、木造住宅の支援、
大工技能者の育成などに取り組ん
でいきたいと存じます。

し、各種展示会でのガーデニング
コーナーや日曜大工コーナーも、
木材の良さが理解できるものが常
に並んでいるとは思えません。

将来、木材を利用する可能性が
ある潜在的なユーザーの方々に木
材の良さに関する情報を提供し、
理解していただくためにも一般消
費者が木材に触れる機会を各地域
で継続的につくっていくことが必
要だと考えております。

木退共通常総会

重点事項は新規加入者対策

全木連総会・理事会と同時併行
により議事を進行

議案の 平成十五年度事業報告
は事務局の説明後、原案どおり承

認。平成十五年度収支決算は事
務局の説明後、監査報告を受けて
承認。平成十六年度事業計画は
事務局の説明後・決定。の二
つの議案は略。役員改選は、選
考委員会の推薦を承認した。(別掲)

なお、木退共の加入者は十五年

度も減少しており、事業報告によ
ると、十五年度当初二千四百八十
六人が十五年度末には二千二百五
十五人になっている。

これは、脱退者三百三人に対し、
新規加入者が七十二人だったこと
によるもの。

このため、十六年度事業計画で
は、本年度の新規加入目標を事業
者数四十、加入者数百五十人とし、
年度末の加入者合計を二百人と
している。

景況調査 = 全木協

4月分集計表 ()内は実数

【流通部門】

モニター数131 回答数75 回収率57%

当月の状況

販売量	増加40% (30)	変わらず48% (36)	減少12% (9)
仕入量	増加32% (24)	変わらず48% (36)	減少20% (15)
販売価格	上昇16% (12)	変わらず83% (62)	下降1% (1)
仕入価格	上昇43% (32)	変わらず53% (40)	下降4% (3)

来月の見通し

販売量	増加32% (24)	変わらず55% (41)	減少13% (10)
仕入量	増加32% (24)	変わらず51% (38)	減少17% (13)
販売価格	上昇32% (24)	変わらず65% (49)	下降3% (2)
仕入価格	上昇43% (32)	変わらず56% (42)	下降1% (1)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	64% (41)	33% (21)	3% (2)
南 洋 材	39% (23)	59% (35)	2% (1)
北 洋 材	48% (29)	50% (30)	2% (1)
国 産 材	14% (9)	78% (49)	8% (5)
建 材	49% (29)	46% (27)	5% (3)

乾燥材取引への関心度	高 い	ほ ど ほど	低 い
	57% (39)	42% (29)	1% (1)

【製造部門】

モニター数114 回答数728 回収率63%

当月の状況

販売量	増加35% (25)	変わらず50% (36)	減少15% (11)
仕入量	増加22% (16)	変わらず50% (36)	減少28% (20)
販売価格	上昇15% (11)	変わらず75% (54)	下降10% (7)
仕入価格	上昇29% (21)	変わらず61% (44)	下降10% (7)

来月の見通し

販売量	増加37% (27)	変わらず46% (33)	減少17% (12)
仕入量	増加25% (18)	変わらず53% (38)	減少22% (16)
販売価格	上昇18% (13)	変わらず78% (56)	下降4% (3)
仕入価格	上昇31% (22)	変わらず65% (47)	下降4% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	69% (24)	31% (11)	0% (0)
南 洋 材	29% (7)	71% (17)	0% (0)
北 洋 材	55% (20)	42% (15)	3% (1)
国 産 材	13% (7)	74% (40)	13% (7)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	65% (13)	30% (6)	5% (1)

選任された新役員の主要メンバー

- 【全木連】
- 会 長 庄司橙太郎(東京)
 - 副会長 三津橋貞夫(北海道)
 - 小松 吉昭(東北・福島)
 - 平方 力(関東・群馬)
 - 上地 宏保(東海・北陸・愛知)
 - 中谷 弘(近畿・和歌山)
 - 山根 恒弘(中国・四国・広島)
 - 坂本 喬(九州・福岡)
 - 市川総五郎(業種・フローリング)
 - 後藤 隆一(員外・事務局)
 - 専務理事 後藤 隆一(員外・事務局)
- 【全木協連】
- 会 長 並木 瑛夫(千葉)
 - 副会長 三津橋貞夫(北海道)
 - 洪谷 正志(東北・宮城)
 - 吉条 良明(東京・問屋)
 - 向河原辰郎(東海・北陸・石川)
 - 中谷 弘(近畿・和歌山)
- 【木退共】
- 会 長 庄司橙太郎(東京)
 - 副会長 小松 吉昭(福島)
 - 坂本 喬(福岡)
 - 後藤 隆一(全木連)
 - 専務理事 後藤 隆一(全木連)
 - 常務理事 齋藤 義光(全木連)
- 常務理事 角谷 宏(員外・事務局)
- 支部長 齋藤 義光(員外・事務局)
 - 吉条 良明(東京)
 - 向河原辰郎(北陸・石川)
 - 樋口 浩良(四国・香川)
 - 岡田 幸助(中国・四国・徳島)
 - 野上 幸男(九州・宮崎)
 - 後藤 隆一(員外・事務局)
 - 後藤 隆一(員外・事務局)
 - 角谷 宏(員外・事務局)
 - 齋藤 義光(員外・事務局)

林業・木材産業の発展のために

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

推進資金(利率1.5%)、改善資金(無利子)他
ご利用ください。

公的機関が保証します

独立行政法人 農林漁業信用基金

後楽事務所(林業部門)

副理事長 加藤 鐵夫

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12(林友ビル5階)

TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842

ホームページアドレス <http://www.mmjp.or.jp/kikin>

メールアドレス kanrisitu@tokyo.email.ne.jp

